



2026 年度秋季

JIU 日本語教育研究会

～CEFRと日本語教育～

日時：2026.9.5（土）13:30～16:30（1部のみ2部のみ参加可）

場所：城西国際大学東京紀尾井町キャンパス 3号棟 3303 教室

参加費：無料

第1部：講演会（講演者：城西国際大学国際人文学部 准教授 萩原幸司先生）

第2部：実践報告 * 第1部 13:30～15:20 第2部 15:30～16:30

<https://forms.cloud.microsoft/r/hYAZBNG6Jc>

QR からも可能



お申し込みはこちらから ➡

申込締切：8月31日（月）

～講演会～

タイトル：「CEFR から考えるこれからの日本語教育」

— 行動中心アプローチと複言語・複文化主義が与える示唆 —

講演内容：現在の日本語教育に於いて重要視される『日本語教育の参照枠』は、何故 CEFR を基盤としているのでしょうか。CEFR は単なる語学能力の基準ではなく、その背景には、人権、民主主義、多文化共生社会を支える教育理念があります。本研究会では、ヨーロッパの歴史を参照しながら、レベル分けでは語り尽くせない CEFR の本質に迫り、これからの日本語教育実践の展望と、多文化共生社会の未来について共に考えたいと思います。

～実践報告～

・普段の授業で取り入れている活動などについて以下4名の先生方に紹介していただきます。

- ① 林千賀先生(城西国際大学)「『日本語教育の参照枠』と今後の日本語教育について」
- ② 上原真知子先生(一橋大学)「楽しみながら情報発信できる『学校のマークを作る』グループ活動」
- ③ 本城美和子先生(城西国際大学)「スピーキング科目に『できる日本語中級』を取り込んだ取り組み」
- ④ 小野里恵先生(城西国際大学)「『できる日本語中級』を使用した授業シラバスの検討と実践」

～ 皆様のお越しをお待ちしております ～

お問い合わせ先：JIU 日本語教育研究会事務局

jle@jiu.ac.jp